2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330532125	教育実習指導 (幼) Teaching practice guidance	永津 利衣			1	選択	3後期
科目の概要							
「教育実習指導 (幼)」はDP1.3.5.6をふまえ、「真心・努力・奉仕・感謝」の精神を大切にしながら、自らの可能性を広げ、社会的自立に必要な力を総合的に身に付けるとともに、幼稚園教諭としての専門的知識・技能を修得し、職場や地域の課題解決に貢献できる人材を育成することを目指す。本科目では幼稚園等での教育実習に向けて、その意義や心得を理解した上で、実習が円滑に行われ実践的な学びが深まっていくよう、実習時期の園における子どもの姿を想定した教材研究や指導計画の立案、模擬保育、目標設定と振り返りの方法等について演習を交え学修する。							
学修内容				到達目標			
① 教員免許取得までに修得すべき専門的知識・技能の具体的な把握を踏まえて、教育実習の意義を理解する。 ② 教育実習生として遵守すべき義務等について理解し、教育実習に参加するための準備を整える。				① 教員免許取得までに修得すべき専門的知識・技能を具体的に把握し、教育実習の意義について理解し、説明することができる。 ② 教育実習生として遵守すべき義務等について十分に理解し、その責任を自覚した上で、意欲的に教育実習に参加する準備を整えることができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的な行動事例					
前に踏み出す力	主体性	基本的な子ども対応を理解した上で、子どもの学びにつながる活動を自分なりに考え、言葉や動きを工夫しながら目標達成につなげることができる。					
	働きかけ力	他の学生の活動を見て前向きに意見を述べるなど、協力して活動をまとめることができる。					
	実行力	子どもを目の前にした時のことを想定して、工夫して話したり演じたりすることができる。また、これまでの学習を基に自分の考えを加えて資料を作成し、提示することができる。					
考え抜く力	課題発見力	子どもの発達段階を理解した上で、子どもの学びを実現するために、どのような環境設定や援助が必要か考えることができる。					
	計画力	グループや個人の活動発表に向けて、子どもに対応することを想定して計画を立てることができる。					
	創造力						
チームで働く力	発信力	自ら調べ追究した課題について、説得力をもってプレゼンテーションすることができる。					
	傾聴力						
	柔軟性						
	情況把握力						
	規律性	子どもの前に立つことを想定して、身だしなみや振る舞い、言葉遣いを整えたり、時間を守ったりすることができる。また、示された課題を期限内に提出することができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
実習の手引き、『幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド』わかば社、プリント等の配布 参考文献：幼稚園教育要領解説							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：「エクスターン (I・II)」および「保育実習」等からつながる実習領域の科目であり、来るべき「教育実習 (幼)」の事前指導・事後指導に該当する科目である。4年次に履修する「教職実践演習」での総合的なまとめにつながる。 資格との関連：幼稚園教諭一種免許状 (該当者は小免を含む)							
学修上の助言				受講生とのルール			
幼稚園等での実習に向け、実習前の準備学習と実習後の振り返りを行う。実習をより有意義なものにするために、そして、実習での学びをより深化させるために、学習への取り組みと省察 (reflection) に対する真摯な姿勢を期待する。				科目の性格上、基本的にすべて出席する。ただし、やむを得ない事由による欠席および遅刻・早退等の取り扱いについては、本学の学則等に則って判断する。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①		
				②		
	小テスト		0	①		
				②		
	レポート		50	①	✓	
				②	✓	
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	40	①	✓		
			②	✓		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		
			②	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S(秀) 教育実習の意義の理解、専門的知識・技能の習得、実習生としての心構えや責務、振り返りによる有機的な学びと明確な課題の獲得について、指導案、模擬保育、PCRシート・レポートにより総合し、全体が十分に達成されている。</p> <p>A(優) 教育実習の意義の理解、専門的知識・技能の習得、実習生としての心構えや責務、振り返りによる学びと明確な課題の獲得について、指導案、模擬保育、PCRシート・レポートにより総合し、全体が達成されている。</p>	<p>B(良) 教育実習の意義の理解、専門的知識・技能の習得、実習生としての心構えや責務、振り返りによる学びと課題の獲得について、指導案、模擬保育、PCRシート・レポートにより総合し、おおむね達成されている。</p> <p>C(可) 教育実習の意義の理解、専門的知識・技能の習得、実習生としての心構えや責務、振り返りによる学びと課題の獲得について、指導案、模擬保育、PCRシート・レポートにより総合し、最低限認められるレベルで達成されている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	【オリエンテーション】 ・授業の概要と到達目標、成績評価の基準について知る。	講義・演習	講義で学んだ内容の要点が理解できている。	(予習) シラバスを読んでくる。 (復習) 授業で学んだ内容をPCRシートにまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 規律性
2	幼稚園について ・保育園と幼稚園の違いを知り、幼稚園の一日の流れについて知る。 ・観察・参加について	講義・演習、ディスカッション	幼稚園の一日について理解できている。	(予習) パーフェクトガイドの指定された部分を読む。 (復習) 講義で学んだ内容をPCRシートにまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 規律性
3	実習園について ・実習園の概要、通勤方法について調べる。 ・ICTの活用	講義・演習	・実習園の概要を理解することができる。	(予習) 実習園について調べてくる。 (復習) 実習園の概要を作成する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 規律性
4	実習目標 ・実習園の概要を踏まえ、実習で学びたいことをまとめる。 ・評価の観点について知る。	講義・演習、ディスカッション	目標の立て方を理解し、実習目標の大筋を立てることができる。	(予習) 手引き・パーフェクトガイドの指定された部分を読む。 (復習) 目標の下書きを完成させる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 規律性
5	実習日誌① ・日々の日誌の書き方について学ぶ。 ・「保育の流れ」の書き方と3週間の観点の変化 ・記録する際の注意点	講義・演習	日誌の書き方について理解できる。	(予習) パーフェクトガイドの指定された部分を読む。 (復習) 記録の注意点を復習する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 規律性
6	実習日誌② ・自由記述について、目標に照らした振り返り・反省と、翌日の目標の設定について学ぶ。 ・各週末の自己評価について	講義・演習	日々の日誌の目標に照らした振り返りを書くことができる。	(予習) パーフェクトガイドの指定された部分を読む。 (復習) 一日の日誌の記録を完成させる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 規律性
7	実習日誌③ ・場面記録(エピソード記録)の目的と書き方について知る。 ・動画を見て場面記録を書く。	講義・演習	場面記録の目的と書き方について理解し、事実と考察を分けて書くことができる。	(予習) パーフェクトガイドの指定された部分を読む。 (復習) 場面記録を完成させる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 規律性
8	各種書類の作成 ・日誌の表紙、実習生連絡票(写真貼付)、誓約書、出勤簿、評価票、訪問指導報告書、健康記録に、氏名等を記入する。	演習	各種書類に必要な事項が記入されている。	(予習) 写真など書類作成に必要なものを準備をする。 (復習) 各種書類の記入部分を完成させる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	保育実技の習得① ・子ども理解に基づく幼児教育の在り方(発達、環境設定、遊びの意義)を理解する。 ・子どもを想定した保育実技(絵本・紙芝居・歌遊び・造形遊び・ゲーム等)を習得する。 ・情報機器の活用を学ぶ。	演習	学生の前で保育実技を行うことができる。	(予習) 指定された保育実技を覚える。 (復習) 保育実技の練習や準備を行う。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 規律性
10	保育実技の習得② ・発達をふまえて、部分指導案を作成する。	演習	発達をふまえた指導案を作成することができる。	(予習) 部分指導案の構想を練る。 (復習) 部分指導案を完成させる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 規律性
11	保育実技の習得③(1班) ・模擬保育の実施と振り返り ・子どもの姿や学び、活動の展開、ねらいの達成、教師の援助などについて検討する。	演習	模擬保育の実施と振り返りができる。	(予習) 模擬保育の準備を行う。 (復習) 模擬保育を振り返り、指導案を修正する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 規律性
12	保育実技の習得④(2班) ・模擬保育の実施と振り返り ・子どもの姿や学び、活動の展開、ねらいの達成、教師の援助などについて検討する。	演習	模擬保育の実施と振り返りができる。	(予習) 模擬保育の準備を行う。 (復習) 模擬保育を振り返り、指導案を修正する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 規律性
13	責任実習 ・教育実習の一日の流れを踏まえ、責任実習について理解する。 ・責任実習に向けた全日指導案を作成する。	講義・演習	全日指導案を作成できる。	(予習) パーフェクトガイドの指定された部分を読む。 (復習) 全日指導案を完成させる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 規律性
14	実習生としての心構え ・遵守すべき事項、マナーについて理解し、実習への姿勢を高める。	講義	遵守すべき事項、マナーについて理解し、心構えや準備ができる。	(予習) 手引きの指定された部分を読む。 (復習) 日ごろからマナーを意識して行動する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 規律性
15	確認とまとめ ・実習目標を確認する。 ・現地オリエンテーションの準備。 ・守秘義務やマナー、実習初日の心得、提出物や持ち物等、礼状、および事後指導について確認する。	オンデマンド	実習の流れについて理解し、必要な心構えや準備ができる。	(予習) 心構え等を読み返し、自己紹介を考える。 (復習) 現地オリエンテーション後、目標を清書する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330531126	教育実習指導(小) Teaching practice guidance	小倉 弘之			1	選択	3前期
科目の概要							
<p>DP③の教育現場での課題に対する見識を深め、専門的な知識と技能を身に付けた教師の育成を目指している。また、こどもの生活学科の目標である「よき教育者の育成」を受け、その後に履修する教育実習につながる科目であり、将来地域社会等で教育者として活躍・貢献できる人材育成の基盤ともなる(DP①⑤⑥)。実習の目的を理解し、事前に実習生としての心構えや遅刻欠席をしない勤務態度、教師や子どもに対する言葉遣いや接する態度、実習記録や指導計画・教材の作成などの準備活動を進めていく。そして、指導案作成や模擬授業を通し教育実習に向けての力量形成を図っていく。実習後は感想や反省点を出し合い、学生同士が話し合う中で、共通の問題意識を持ち考えを深めたりする。</p> <p>小学校、中学校で校長及び教育委員会で指導主事としての指導経験があり、その経験を生かして実習指導を行う。</p>							
学修内容				到達目標			
<p>① 小学校における実習の目的を理解し、教育実習への心構えを形成する。</p> <p>② 記録や実習日誌の書き方、学習指導案の作成等を理解・準備し、模擬授業を行う。</p> <p>③ 実習前に各自の課題を自覚しておき、対応策を具体的に立てる。</p>				<p>① 小学校における教育実習の目的を理解し、実習への心構えを形成することができる。</p> <p>② 授業で修得した教科の知識や技能を活用し、学習指導案の作成、そして学習指導要領の趣旨を生かした模擬授業を行うことができる。</p> <p>③ 教育実習に対する各自の目標を明確にし、そのための準備や対応策を考え教育実習に向けての課題を解決することができる。</p>			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	記録や実習日誌の書き方、指導案の作成等を理解・準備することに取り組むことができる。					
	働きかけ力						
	実行力	模擬授業を行い、実習の準備活動に取り組み続けることができる。					
考え抜く力	課題発見力	指導案を作成するために、課題をつかむことができる。					
	計画力						
	創造力	子どもの理解度や反応を想像し、その際の教師の手立てや留意点を考え、模擬授業を行うことができる。					
チームで働く力	発信力	記録や実習日誌の書き方、指導案の作成等を調べたことや、指導案や模擬授業について検討したこと等を述べるができる。					
	傾聴力	他者の模擬授業では、子ども役としてしっかり聞き、意見発言ができる。また振り返りでは、授業者が授業改善に生かせる観点から考えを述べるができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	指導案の書式に従った指導案の作成、学習理解に繋がる資料等の準備、リフレクションペーパーの作成を期限までに行うことができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
<p>テキスト：使用しない。適宜資料を配布する</p> <p>参考文献：「小学校学習指導要領（平成29年告示）」、「小学校学習指導要領（平成29年告示）国語、算数、特別の教科 道徳偏」</p>							
他科目との関連、資格との関連							
<p>教育実習指導は、教育実習の基盤となる科目である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他科目との関連：教職に関わる全ての科目 ・資格との関連：小学校教諭1種免許状 							
学修上の助言				受講生とのルール			
<ul style="list-style-type: none"> ・模擬授業に向けて指導案を作成し、必要な教材・教具や資料等を準備すること 				<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習をしっかり行う（指導者として児童の前に立つ）という自覚をもち、本授業に臨むこと。 ・グループでの準備・活動を他者と協調しながら協働して行うこと。 ・提出期限の遅れや未提出、無断欠席は厳禁とする。 			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
	小テスト	0	①			
			②			
			③			
	レポート	60	①	✓		(獲得) 教育実習でのマナーや留意事項、学習指導を行う上での知識・技能：50% (活用) 教育実習に臨む、授業実践を行うことへのレポート作成：50%
			②	✓		
③			✓			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	30	①	✓	(解決) 指定された教科、領域の教材研究、指導案作成、模擬授業：100%		
		②	✓			
		③	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	(主体性) 実習日誌の書き方、記録の取り方、指導案の作成の方法、教材・教具の作製等を調べたり、考えを整理・文章化・表現したりすることができる (実行力) 模擬授業を行い、実習の準備活動に取り組み続けることができる (課題発見力) 指導案を作成するために、課題をつかむことができる (創造力) 発想を転換し、新たな視点をみつけて模擬授業を行うことができる (発信力) 実習日誌の書き方、記録の取り方、指導案の作成の方法、教材・教具の作製等を調べたことや、指導案についてのアイデアや、模擬保育について検討したこと等を述べる (傾聴力) 他者の、実習日誌の書き方、記録の取り方、指導案の作成の方法、教材・教具の作製等を調べたことや、指導案についてのアイデアや、模擬授業について検討したこと等について、質問・確認を行い理解することができる (規律性) 授業ルールを守ることができる	
			②	✓		
			③	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>Aは、自分ならばこうする等、自分なりの考えを示すことができるなど、到達目標に照らし合わせて80%以上達成できていること。</p> <p>Sは、自分なりの視点をもって学修した内容について考え、説明することができるなど、90%以上達成できていること。</p>	<p>学修した内容を過去の経験と結びつけながら具体的に述べるなど、70%以上達成できていること。</p> <p>※レベルBを満たしていない発表・レポート（作品）、又は提出遅れはレベルCと判断する。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・オリエンテーション ・教育実習の意義と目的について考える。 ・小学校の教育について学習する。	・講義 ・演習	・実習生としての心構えや実習態度について、議論した意見を簡潔にまとめてレポートを作成することができる。	(予習)・小学校学習指導要領など小学校教育に関わる資料を読み、実習について準備する。 (復習)・実習生としての実習態度等について不明瞭な所を明確にする。 (提出: Google Classroom)	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
2	・各自治体における求める教師像について理解する。 ・これまでの受入先からの意見・要望から実習生としての心構え、態度、必要な資質等について考える。 ・(発表)実習初日の児童への自己紹介	・講義 ・演習・ディスカッション	・本時を通して学んだり考えたりしたことを簡潔にまとめてレポートを作成することができる。	(予習)・教育実習を行ううえで不安な点や疑問点をまとめてくる。(提出: Google Classroom) (復習)・これまでの教育実習受入校の意見・要望を踏まえて、自らの実習の目標や留意事項を明確にする。 (提出: Google Classroom)	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
3	・実習生に求められているものや心構えについて考える。 ・実習生の一日の流れ、期間中の流れ、日々の目標の立て方について学習する。 (映像資料:「密着!教育実習!」) ・記録および実習日誌の書き方を理解する。	・講義 ・演習	・本時を通して学んだり考えたりしたことを簡潔にまとめてレポートを作成することができる。	(予習)・記録や実習日誌の書き方について記してある資料を収集してまとめ、次回持ち寄る。 (復習)・本時の学修をまとめ、実習までにすべきことを明確にする。(提出: Google Classroom)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
4	・学習指導案の作成の仕方について理解する。	・講義 ・演習	・本時を通して学んだり考えたりしたことを簡潔にまとめてレポートすることができる。	(予習)・指定された教科、単元の指導案を検索し持参する。 ・映像視聴「学習指導案の書き方」(NITS) https://www.nits.go.jp/materials/basic/014.html (復習)・本時で扱った指導案をモデルとして指導案を作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
5	・ティーチングスキル:授業環境づくりと授業運営、発声・板書等について理解する。	・講義 ・演習	・本時を通して学んだり考えたりしたことを簡潔にまとめてレポートすることができる。	(予習) ・映像資料を視聴し、そのポイントをまとめる。(['分かる授業をつくる~効果的な発問・板書~'(NITS)]) https://www.nits.go.jp/materials/basic/016.html (復習) ・本時の学修で理解したことや疑問点などをまとめ、レポートを作成する。(提出: Google Classroom)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	実際の授業VTRを視聴し、これまでのティーチング・スキルについて理解を深める。	・講義 ・グループによる演習・ディスカッション	・小学校での授業VTRを観て、よさや改善点を指摘することができる。	(予習)・模擬授業の学習指導・教材研究をする。 (復習)・本時での学修を通して、自分の授業づくりの見直し等についてレポートにまとめる。(提出: Google Classroom)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	・教材研究の仕方とそのポイントについて理解し、実際に指導案を作成する(国語)。	・講義 ・グループによる演習	・教材指定された題材の教材研究を行い、指導案を作成することができる。	(予習)・指定された題材の授業をどのように行うかまとめる。 (復習)・国語科の指導の大切な点や注意すべき点についてまとめる。(提出: Google Classroom)	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
8	・指導案に基づきマイクロ・ティーチングを行う(国語)①。	・マイクロ・ティーチング ・グループによる演習 ・マイクロ・ティーチングのフィードバック	・互いのマイクロ・ティーチングについて、よさや改善点を示すことができる。	(予習)・指定された題材の学習指導案を作成する。 (復習)・自らの国語科の指導に関する改善点や方針をまとめる。 (提出: Google Classroom)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	・指導案に基づきマイクロ・ティーチングを行う(国語)②。	・マイクロ・ティーチング ・グループによる演習 ・マイクロ・ティーチングのフィードバック	・互いのマイクロ・ティーチングについて、よさや改善点を示すことができる。	(予習)・指定された題材の学習指導案を作成する。 (復習)・自らの国語科の指導に関する改善点や方針をまとめる。 (提出: Google Classroom)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	・教材研究の仕方とそのポイントについて理解し、実際に指導案を作成する(算数)。	・講義 ・グループによる演習	・指定された単元の教材研究を行い、指導案を作成することができる。	(予習)・提示された算数科の問題について、どのように指導するかまとめる。 (復習)・算数科の指導に関して重要な点や留意すべき点についてまとめる。(提出: Google Classroom)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	・指導案に基づきマイクロ・ティーチングを行う(算数)①。	・マイクロ・ティーチング ・グループによる演習 ・マイクロ・ティーチングのフィードバック	・互いのマイクロ・ティーチングについて、よさや改善点を示すことができる。	(予習)・指定された単元の学習指導案を作成する。 (復習)・自らの算数科の指導に関する改善点や方針をまとめる。 (提出: Google Classroom)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	・指導案に基づきマイクロ・ティーチングを行う(算数)②。	・マイクロ・ティーチング ・グループによる演習 ・マイクロ・ティーチングのフィードバック	・互いのマイクロ・ティーチングについて、よさや改善点を示すことができる。	(予習)・指定された単元の学習指導案を作成する。 (復習)・自らの算数科の指導に関する改善点や方針をまとめる。 (提出: Google Classroom)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	・教材研究の仕方とそのポイントについて理解し、実際に指導案を作成する(道徳)。	・講義 ・演習	・道徳授業を行うに際しての留意点を述べる ことができる。 ・道徳科指導案作成に際しての留意点を述べる ことができる。	(予習)・指定された資料について教材研究を行い、指導案を作成する。 (復習)・道徳授業のポイントを述べる ことができる。(提出: Google Classroom)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	・指導案に基づきマイクロ・ティーチングを行う(道徳)。	・マイクロ・ティーチング ・演習 ・マイクロ・ティーチングのフィードバック	・模擬授業を通して学んだり考えたりしたこと、改善点を簡潔にまとめることができる。	(予習)・指定された単元の学習指導案を作成する。 (復習)・道徳の模擬授業を経験しての考察をまとめる。(提出: Google Classroom)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
	【オンデマンド】映像資料を視聴し考察することで、これまでの学びを振り返り、成果を確認するとともに、今後の学び方や実習に向けての課題をもつ。	オンデマンド	・映像資料の考察をもとに、実習に向けてのまとめを整理し文章化することができる	(予習)・演習を通して学んだこと等をまとめる。 (復習)・これまでの学びをまとめると同時に今後に向けての課題等を整理・文章化して提出する。(提出: Google Classroom)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力